

様式2

平成 28 年度 自己評価表

鳥取県立日野高等学校

<b>中長期目標 (学校ビジョン)</b>	1 小さくてもキラリと光り輝く学校 2 一人ひとりを大切に作る学校 3 地域に信頼される学校	<b>今年度の重点目標</b>	1 【学力の向上】基礎学力を定着させ、確かな学力を育成する 2 【豊かな心の育成】ルール・マナーを身につけさせ、心豊かな生徒を育てる 3 【希望する進路の実現】キャリア教育を充実させ、希望進路の実現を図る 4 【開かれた学校づくり】積極的に情報を発信し、家庭・地域との連携を図る
---------------------------	--	-----------------	--

年度当初					評価結果( )月		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標 (年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
1 【学力の向上】  基礎学力を定着させ、確かな学力を育成する	わかる授業の実施	生徒の理解力や実態に応じた授業が行われている。	生徒が授業内容を理解し、授業規律を守り、積極的に授業を理解しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業ごとの目標を定め、教員はその目標を生徒に最初に明確に示してから授業に入る。</li> <li>様々なニーズに合う特色ある選択科目を設置する。</li> <li>生徒による授業評価を実施し、授業の自己点検を行う。</li> <li>教員対象の各種研修を実施し、教員の指導力を高め、学校として統一した基準で指導できるようにする。</li> </ul>			
	個に応じた学習指導	少人数指導・個別指導を通して、基礎学力の定着に努めている。	生徒それぞれの実態を把握し、進路希望を実現できる学力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望や能力に応じたきめ細やかな指導を行う。</li> <li>授業形態や教材の工夫・改善を図る。</li> <li>個別補習・個別面談などを通し、生徒の状況把握をし、進路実現を図る。</li> </ul>			
	基礎学力の養成	就職、進学に必要な基礎学力が十分身につけていない生徒もいる。	3年間を見通して進路実現に必要な学力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力をつけるために国英数での習熟度授業を実施。</li> <li>基礎学力向上できる授業を行うため、指導方法を工夫する</li> <li>基礎学力委員会で学力向上策を検討する。</li> </ul>			
2 【豊かな心の育成】  ルール・マナーを身につけさせ、心豊かな生徒を育てる	TEASの推進	各種啓発活動により、環境に対する意識が高まりつつある。	校内の環境や美化について考えることをとおして、環境意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境委員会を活性化し、校内美化意識向上につなげる。</li> <li>根雨地区でのボランティア清掃を行う。</li> <li>環境教育校外研修・環境教育講演会を通して、環境保全の必要性や環境配慮社会について考えさせる。</li> </ul>			
	安心・安全な学校生活	指導部と生徒支援部・各学年が連携し、全体として落ち着いた学校状況にある。	ルールやマナーを遵守した行動をとることができ、規律ある学校生活を送ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員が指導方針を統一して取り組む。</li> <li>集団生活を営む上で必要なルール・マナーを身につけさせる。</li> <li>服装、言葉遣い、授業中の態度などの指導を徹底する。</li> </ul>			
	特別支援教育の充実	多様な悩みを抱えた生徒、特に人間関係に悩む生徒もいる。	円滑な人間関係を築き、他者への配慮や気遣いを実践することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生徒の課題を把握し、ケース会議等を開催し生徒の変化を見逃さない支援を行う。</li> <li>生活指導部・各学年だけでなく、スクールカウンセラー、若者サポートステーション、スクールソーシャルワーカー等とも連携して生徒支援を行う。</li> <li>エバーサレゲーションを意識した授業を行う。</li> </ul>			

評価項目	評価の具体項目	現状	目標 (年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
3【希望する進路の実現】	すべての生徒の進路保障	自分の進路を実現するために、主体的な進路選択ができない生徒もいる。	自らの進路を熟考することができ、進路実現に向けた行動をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸ガイダンス、講演などを通じ、保護者・生徒へ適切な進路情報の提供を行う。</li> <li>・全職員による指導体制を確立し、徹底した面接・小論文指導等を行う。</li> <li>・3年間を見通した進路指導計画を立て、進路指導の充実を図る。</li> </ul>			
	キャリア教育を充実させ、希望進路の実現を図る	さまざまな行事を通して、早期にキャリア教育に取り組んでいる。	早い時期から、生徒の進路意識を高揚させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業・産業社会と人間・課題研究などさまざまな場面で生徒の自己表現や発表の場を増やしていく。</li> <li>・新社会人の講話を行い、生徒の進路意識を高める。</li> <li>・学校・事業所見学、職場体験実習、農業体験学習などを実施し、進路に対する意識づけを強める。</li> <li>・キャリアアドバイザー通信などを通して、適切な進路情報を提供する。</li> </ul>			
	資格取得の推進	情報ビジネス、アグリライフ系列などそれぞれの系列で資格取得に努めている。	積極的な検定の受検を促し、各種資格取得者を各系列で増加させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉や介護教育を推進し、地域に貢献できる人材を養成する。</li> <li>・各種資格取得試験について、生徒への丁寧なガイダンスを行う。</li> <li>・各種資格取得試験に向けての講習を充実させる。</li> </ul>			
4【開かれた学校づくり】	地域交流活動の推進	日野高ショップ、各種ボランティア活動などを通して地域の方々と交流を深めている。	異世代とのコミュニケーションがとれ、の交流を通して、自分の考えや意見を適切に表現する能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材を活用し、授業内容の充実を図る。</li> <li>・地域交流を通して、コミュニケーション能力の育成を図る。</li> <li>・福祉そば打ち・福祉餅つきなどのボランティア活動に積極的に取り組む。</li> </ul>			
	積極的に情報を発信し、家庭・地域との連携を図る	部活動加入率が低く、団体戦に出場できない部活動もある。陸上部や郷土芸能部など地域に出かけ交流活動や公演等を行う部活動もある。	部活動、生徒会活動などを通して、協調性や責任感を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動を通して、チームワークや集中力、社会性を身につけさせる。</li> <li>・部活動やボランティア活動への加入を働きかけ、学校の活性化につなげる。</li> <li>・責任感と主体性の育成及び達成感・連帯感を体験させるため、生徒会活動、委員会活動を活性化を図る。</li> </ul>			
	地域や保護者への情報発信	学校広報誌日野川を発行し、ホームページを頻繁に更新するなどして、学校の様子を地域や保護者に発信している。	学校の様々な情報を積極的に発信し、保護者・地域・中学校からの日野高理解につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「開かれた学校づくり」に取り組み、保護者や地域と連携して、諸活動に取り組む。</li> <li>・新聞やテレビなどのマスメディアを活用した広報をより積極的に行う。</li> <li>・学校報告会、PTA総会の公開授業などを土曜日開催とし、保護者が出席しやすい状況を整える。</li> </ul>			

評価基準 A: ほぼ達成 B: 概ね達成 C: 変化の兆し D: まだ不十分

